

平成 30 年度人間総合科学研究科
スポーツ健康システム・マネジメント専攻
専門科目試験問題

自分が「志望したコース」における A 群、B 群の中からいずれか 1 つの群を選び、その問いにある 2 つの課題について、それぞれ解答しなさい。

(コースの名称)

[スポーツプロモーションコース]

- A 群 スポーツプロモーション領域
- B 群 スポーツマネジメント領域

[ヘルスプロモーションコース]

- A 群 ヘルスプロモーション領域
- B 群 ストレスマネジメント領域

注 1) 「志望したコース」とは、出願書類に自分が志望して記入したコース名を指します。コース内においては、A 群、B 群どちらを選択しても構いません。

注 2) 解答は、問いのそれぞれの 1 課題に対して答案用紙 1 枚を用いて答えること。なお、裏面への記入および 1 課題に対して 2 枚以上の使用は認められません。

注 3) 各答案用紙には、志望研究科名、専攻名、受験番号を指定欄に記入するとともに、最初の行に領域名及び課題番号を必ず明記してください。

注 4) 試験終了後、問題用紙、答案用紙、下書き用紙のすべてを回収します。

[スポーツプロモーションコース]

A群（スポーツプロモーション領域）

問い：次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題（1） ポスト「東京 2020」において、予想されるわが国のスポーツプロモーションの課題を2つ以上取り上げ、それぞれの背景について論じなさい。

課題（2） スポーツプロモーションに活用できるわが国の大学の「スポーツ資源」を3つ示し、それぞれの「スポーツ資源」を効果的に活用するための方策について論じなさい。

B群（スポーツマネジメント領域）

問い：次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題（1） 中学校、高等学校の運動部活動における学校側から見た問題点を複数あげ、その解決策を論じなさい。

課題（2） 競技力向上において成果をあげるための統括人材育成の必要性及び育成システムについて論じなさい。

[ヘルスプロモーションコース]

A群（ヘルスプロモーション領域）

問い：次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題（1） 政府が推進しているデータヘルスが今求められている背景とその内容及び進め方を論じなさい。

課題（2） 身体不活動とはどのような状態であるかについて、座位行動や「健康づくりのための身体活動基準2013」をもとに説明し、身体不活動が我が国の超高齢社会に及ぼす影響について論じなさい。

B群（ストレスマネジメント領域）

問い：次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題（1） 職場におけるストレス要因を3つあげ、その対策について論じなさい。

課題（2） ラザラスの心理学的ストレスについて、身近な例をあげて説明しなさい。